たきかわ 市議会だより

滝川西高等学校入学式

4月10日に入学式が挙行され
緊張した新入生256人が夢と希望を胸に
新たな学校生活の一歩を踏み出しました

●目　次●

主な議案のあらまし・議決結果	2～3
代表質問から	4～8
予算審査特別委員会	9
予算審査特別委員会における各会派の討論	10～11
副議長コラム・議会日誌・編集後記	12

2017.5.1
No.21

発行：滝川市議会　編集：たきかわ市議会だより編集委員会　〒073-8686　滝川市大町１丁目２番15号　TEL.0125-28-8048　FAX.0125-23-5329

議会開会中

第1回定例会
主な議案のあらまし

平成29年第1回定例会は、3月6日から23日までの18日間の日程で開催しました。

本定例会では、市長から平成29年度の「市政執行方針及び予算大綱」が説明されたほか、市政について５人の議員が代表質問を行いました。また、平成29年度予算については、第１、第２予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

議決した主な内容についてお知らせします。

▲市政執行方針を表明する前田市長

めて慎重な審査が行われました。

各会計の予算額は、一般会計１９８億８、５００万円（前年度比４・８％減）、国民健康保険特別会計55億１、５０４万円（前年度比３・４％減）、公営住宅事業特別会計７億５、９０４万円（前年度比０・４％減）、介護保険特別会計40億４、０００万円（前年度比８・０％増）、後期高齢者医療特別会計５億８、４９８万円（前年度比６・０％増）、土地区画整理事業特別会計４、５３３万円（前年度比４７・９％減）、下水道事業会計28億１２６万円（前年度比2・7％増）、病院事業会計76億３、２６１万円（前年度比１・３％増）で、総額４１２億６、３２５万円（前年度比１・７％減）となりました。

◎平成29年度各会計予算

各会計の予算審査は、予算審査特別委員会において関連議案も含

◎平成28年度補正予算

一般会計で４０９万４千円を減額補正し、総額２１５億４、３４８万２千円となりました。

主な減額内容は、実績見込みに伴う重度心身障害者医療扶助費および私立幼稚園就園奨励費補助金などの減額補正、また事業費の確定に伴う栄町３―３地区優良建築物等整備事業補助金の減額補正などです。

そのほかに増額補正として計上された主な事業費は、総務省の交付金を受けて行う個人番号カード等関連事務経費５５８万円、燃料単価の値上がりによる市内小・中学校および西高等学校の燃料費８９３万７千円、江陵中学校特別支援教室にシャワーユニットなどを設置するための改修工事費１６９万７千円、寄付者の意向による文化センターの譜面台を購入するための経費40万円などです。

このほか、国民健康保険特別会計で８、５８２万８千円を減額補正し、56億２、４５６万４千円、介護保険特別会計は保険事業勘定で３、５００万円を増額補正し、38億９４２万７千円、後期高齢者医療特別会計で５２０万円を増額補正し、５億５、７００万９千円となりました。

また、公営住宅事業特別会計は３、５００万円、土地区画整理事業特別会計は６、４７７万５千円を平成29年度に繰り越して使用するための補正を行いました。

◎条例の制定・改正・廃止

次の条例の制定、改正、廃止について、原案のとおり可決しました。

○滝川市自転車の安全利用の促進及び自転車等の放置の防止等に関する条例、滝川市産業振興部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例など３件の条例を制定しました。

○滝川市税条例の一部を改正する条例、滝川市手数料条例の一部を改正する条例、滝川市文化センター条例の一部を改正する条例、滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例、滝川市老人福祉センター条例の一部を改正する条例、滝川市丸加高原健康の郷条例の一部を改正する条例など８件の条例の一部を改正しました。

○滝川市老人ホーム条例を廃止し

ました。

◎監査委員の選任

任期満了に伴うもので、宮崎英彰さんの選任に同意しました。

◎教育委員会委員の任命

任期満了に伴うもので、朝日幸世さんの任命に同意しました。

◎公平委員会委員の選任

任期満了に伴うもので、鷲尾昌法さんの選任に同意しました。

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴うもので、斎藤恵美子さんの選任に同意しました。

◎意見書の送付

次の２件の要望意見書案を可決し、関係機関に送付しました。

○過疎地域の追加と過疎対策事業債の対象事業の拡充を求める要望意見書

○安全安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める要望意見書

◎その他の議案等

そのほか、平成29年度滝川市下水道事業会計資本金の額の減少について、公の施設の指定管理者の指定について（４件）など12件の議案等を可決、報告済としました。

平成29年第１回定例会議決結果

●平成29年度予算

○	平成29年度滝川市一般会計予算 ＜反対　舘内　清水＞
◎	平成29年度滝川市国民健康保険特別会計予算
○	平成29年度滝川市公営住宅事業特別会計予算 ＜反対　舘内　清水＞
◎	平成29年度滝川市介護保険特別会計予算
◎	平成29年度滝川市後期高齢者医療特別会計予算
○	平成29年度滝川市土地区画整理事業特別会計予算 ＜反対　舘内　清水＞
◎	平成29年度滝川市下水道事業会計予算
◎	平成29年度滝川市病院事業会計予算

●条例

◎	滝川市保健福祉部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例
◎	滝川市産業振興部の公の施設の指定管理者の指定に係る管理期間の特例に関する条例
◎	滝川市自転車の安全利用の促進及び自転車等の放置の防止等に関する条例
◎	滝川市税条例の一部を改正する条例
◎	滝川市手数料条例の一部を改正する条例
◎	滝川市文化センター条例の一部を改正する条例
◎	滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例
◎	滝川市老人福祉センター条例の一部を改正する条例
◎	滝川市丸加高原健康の郷条例の一部を改正する条例
◎	滝川市住宅改修の促進に関する条例の一部を改正する条例
○	滝川市都市公園条例の一部を改正する条例 ＜反対　舘内　清水＞
◎	滝川市老人ホーム条例を廃止する条例

●意見書

◎	過疎地域の追加と過疎対策事業債の対象事業の拡充を求める要望意見書
◎	安全安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める要望意見書

●平成28年度補正予算

◎	平成28年度滝川市一般会計補正予算（第７号）
◎	平成28年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）
◎	平成28年度滝川市公営住宅事業特別会計補正予算（第２号）
◎	平成28年度滝川市介護保険特別会計補正予算（第３号）
◎	平成28年度滝川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
◎	平成28年度滝川市土地区画整理事業特別会計補正予算（第２号）

●その他

◎	平成29年度滝川市下水道事業会計資本金の額の減少について
◎	公の施設の指定管理者の指定について（航空科学センター）
◎	公の施設の指定管理者の指定について（老人福祉センター）
◎	公の施設の指定管理者の指定について（ふれ愛の里（地ビール製造施設を除く。）等）
◎	公の施設の指定管理者の指定について（スポーツセンター等）
◎	予算審査特別委員会の設置について
◇	監査委員の選任について
◇	教育委員会委員の任命について
◇	公平委員会委員の選任について
◇	固定資産評価審査委員会委員の選任について
★	予算審査特別委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
★	常任委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
★	議会運営委員会の委員並びに委員長及び副委員長の選任について
☆	専決処分について（工事請負契約の変更）
☆	監査報告について
☆	例月現金出納検査報告について

◎ 全会一致可決　○ 賛成多数可決　◇ 全会一致同意
☆ 報告済　★ 選任

第1回定例会 代表質問から

会派清新
荒木文一

人口減少対策について

質問 市民全体で人口減少課題に対峙していくため、どのような視点が必要と考えるか伺う。

答弁 人口減少には自然減と社会減の観点があり、両方の対策が重要と考えます。住民基本台帳では、平成24年の351人となっていた社会減が昨年は66人と減少し、これまでの施策の積み重ねが効果を上げていると考えます。29年度からは、新築住宅助成事業を創設し移住や定住を促進していきます。

新日本スーパーマーケット協会への職員派遣の終了について

質問 本市の商品PRを含む販売促進に協力いただいたと思われるが、派遣終了後、継続的な協力関係が保たれるのか伺う。

答弁 平成26年度から3年間で3人の職員派遣を実施し、販路拡大や市内事業者の育成にさまざまなご協力をいただくとともに、職員の民間ノウハウの取得や人材ネットワークの構築につながったと認識しています。今後は、引き続き協会の賛助会員となり、継続的な協力関係に努めていきます。

企業誘致について

質問 今回誘致が実現した運送会社については、雇用にもつながり新たな好影響が期待できるが、製造業の誘致についても新たな展開があれば伺う。

答弁 製造業の誘致につきましては、市内での事業化に関心を持っていただいている企業もありますが、一朝一夕に結果が出るものではないと考えています。特に食品関連製造業については、農業振興にもつながることから重要と認識し、引き続き事業者とのネットワークを生かしながら誘致実現に向けて活動を進めていきます。

外国人労働者の受入れについて

質問 国策として単純労働者の受け入れを是としていない現状や治安維持の懸念から簡単ではないが、雇用のミスマッチや慢性的な人手不足解消に向けて、マンパワーの受け入れに対する考えを伺う。

答弁 ご指摘のとおり特定業種の人手不足は全国的に拡大しています。外国人労働者につきましては現在の出入国管理及び難民認定法において、専門的、技術的分野以外の単純労働者としての受け入れは厳しいのが現状です。今後の法整備を伴う要件緩和に注視しながら、市として支援していきます。

新築住宅助成事業について

質問 新制度の予算化に反対する理由はないが、近隣の住民の奪い合いとなる傾向には、極めて批判的な立場と言わざるを得ない。新規事業を立ち上げる趣旨を伺う。

答弁 新設の趣旨は、人口減少対策として若者世代、アクティブシニアの取り込み、市民の転出抑止、移住・定住促進を柱としていますが、一定の性能要件を満たした住宅も対象にすることで、次代を見据えた高品質住宅建築の促進施策としても期待しています。近隣自治体との奪い合いを避けなければならないとのご指摘は同意見でありますので、制度設計においても趣旨を踏まえた内容としています。

市立病院の経営改善について

質問 経営の立て直しが急務と考えるが、平成29年度当初から見込まれる市民に分かりやすい個別的改善事項とともに、経営改善の実質的な司令塔は誰なのか伺う。

答弁 昨年末に診療報酬等算定向上プロジェクトを立ち上げ、さまざまな検討を進めています。

29年度からは、常勤医師体制が現行の36人から2人増員となり、整形外科、眼科医師がそれぞれ1人ずつ増えることから手術件数が増え、入院患者数の増加も見込めます。また、理学療法士の増員により、昨年3月に開設した地域包括ケア病棟のフル活用が可能な体制が整います。さらには新たな施設基準の取得やランクアップへの取り組み、民間企業への職場健診の呼びかけ、診療材料のベンチマークの導入など、できることはすぐに実行していきます。新たな経営改善に向け、病院長を司令塔とし、全職員で取り組んでいきます。

会派みどり
山本 正信

市政運営の基本的な考え方について

質問 ２期目の折り返し点での公約達成率と財政健全化について伺う。

答弁 イレブンプラスワンの取り組みについて、すべてにおいて実施もしくは着手しています。また、事業の見直しなど着実に財政健全化に取り組んでいます。

元気な産業と活力あるまちづくりについて

質問 老朽化した穀物乾燥調整施設（北の米蔵）の更新について考えを伺う。

答弁 運営主体の農協と有利な国の補助事業の活用を検討し、平成30年度採択に向けて空知総合振興局とも協議を進めています。

豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくりについて

質問 菜の花関連商品を通じた地場産業育成について伺う。

答弁 行政主導ではなく、民間の発意が重要であり、市の助成制度を有効に活用してもらいたいと考えています。

質問 りんご園の振興について伺う。

答弁 果樹協会と協議しながら支援を続けたいと考えています。また、地域おこし協力隊による果樹栽培取組を新たなモデルとして期待しています。

質問 丸加高原伝習館のあり方を考える時期が来たのではないか。

答弁 老朽化から宿泊機能は休止状態ですが、美しい景観・自然体験の場として認識しています。今後機能の集約を含めて検討します。

質問 菜の花まつりに向け、協力農家との緊密な関係を築くため、情報共有がなされるのか伺う。

答弁 農作業への影響を及ぼさないよう、駐車場の設置や交通規制などについて、地元生産者や町内会と連携を密にしていきます。

質問 地域おこし協力隊の任期満了時の支援策について伺う。

答弁 総務省の制度に基づき、隊員には起業時に１００万円を上限に支援が可能となっています。今後も定住・定着を促進するために相談やフォローアップを行います。

機能的な生活基盤の充実したまちづくりについて

質問 老朽化した公共施設用地の企業誘致への活用について伺う。

答弁 滝川市公共施設マネジメント計画に基づき、官民連携によるまちづくりの研究を進め、建物のリノベーションをはじめ、空き地の有効活用など、事業者を発掘・育成し、公有財産の有効活用を図りたいと考えています。

質問 にぎわい広場が廃止となったが、平成29年度以降の考え方について伺う。

答弁 中心市街地の活性化についてイベント等の開催も重要ですが、老朽化した建物や空き地の有効利用など、新たな商業者育成が重要と考えており、にぎわいづくりのため未来を見据えて各種事業を実施していきます。

誰もが住みよい安全安心なまちづくりについて

質問 市立病院の経営計画で赤字解消に努めるようだが、将来、指定管理などの民営化の考えについて伺う。

答弁 全国には指定管理のところもあります。経営的には厳しいですが、他の自治体病院と比較すると努力しており、当面は計画に基づき経営改善に努めていきます。

未来にはばたく子どもたちを育むまちづくりについて

質問 （仮称）女性活躍推進センターの内容について伺う。

答弁 総務文教常任委員会でセンターのイメージを報告しており、それと大きくは変わらない予定です。求められる機能のうち、子育て世代包括支援センターの機能については、平成30年度設置を目指し準備を進めています。

教育行政について

質問 市営球場の改修について他市町に負けない改修となるのか。

答弁 各利用団体の要望を踏まえ、利用者が支障なく利用できる環境を確保できるよう改修します。今後も利用者の意見を聞き、改修等に努めます。

新政会
本間保昭

将来を見据えたまちの姿について

質問　将来を見据えたまちの姿を描く必要性について、中心市街地において描く要素となる施設などは何か伺う。

答弁　現在、栄町3―3地区をはじめ、駅前広場の再整備事業が行われていますが、引き続き、空き店舗や空きビル・遊休地などの開発を誘導するような環境づくりに向け、所有者をはじめ利害関係者との調整を進める新たな専門部署を設ける予定で考えており、その中で行政としてできる役割や市民が求める中心市街地に必要な機能、さらには、財政状況などを総合的に検討していきます。

農業を起点とした元気な地域産業づくりについて

質問　農業分野への企業参入について、実績と今後の課題および今後の取り組みについて伺う。

答弁　平成28年度の実績としては、化粧品メーカーのハーバー研究所と包括連携協定を交わし、丸加高原においてラベンダーの試験栽培に取り組み始めました。29年度に向けて他の作物への拡大や、さらには農業生産法人化に向けた協議も始まったところです。そのほかにも夕張ツムラの生薬栽培やマツオの畜産事業への参入など、農業分野への企業参入が進み始めていますし、市外の企業から農業参入に向けた問い合わせもいただいているところです。現段階では企業名を明かせませんが、交渉中の案件もあり、今後可能性のある分野と考えています。

質問　地域資源を活用した特産品開発の現状と、取り組んでいる具体的な案件および今後取り上げようとする素材について伺う。

答弁　これまで、菜の花まつりなど市外から多くの方が訪れる機会に、お土産となる商品が少ないという声をいただいていることから、現在、地域資源を活用したお土産品づくりとして、滝川産米を原料とした米菓子の開発を行っています。開発中の商品については、先日開催された冬まつり会場においてもテスト販売を行い、さまざまなご意見をいただいたので商品に反映させたいと考えています。

　今後についても、米やなたね油、りんごなどの地域資源を活用した商品化に努めるとともに、市内事業者の特産品開発に向けた取り組みについても支援していきます。

賑わいのある中心市街地の活性化について

質問　滝川版マルシェについて、市長が考えているイメージと設置目標年次について伺う。

答弁　滝川版マルシェについては、昨年11月、地域産品等を共同で販売する拠点の設置により、商品展開力や販売力の向上等を図ることを目的とした全国商工会議所連合会の「共同販売拠点による地域産品等の販路開拓支援事業」の公募を受けて、滝川商工会議所が申請者となり、市が支援する形で応募した経緯があります。しかし、残念ながら採択に至らなかったことから、いったん白紙に戻し、今後は栄町3―3地区再開発との連動性を鑑みながら、滝川商工会議所に設置される検討組織において、官民連携により実現の可能性を探っていきます。

道徳教育について

質問　本市独自の道徳教育推進事業について、SNSやインターネットなど多様化し変化する社会的課題に向けた指導について伺う。

答弁　これからの時代を生きる子どもたちが、インターネットに関わる諸問題などの社会的課題について、正しい知識と倫理観を持ち、向き合っていくための素地を育むことは、学校教育に求められる大切な観点と考えます。学校では、技術家庭科などの各教科や学活、総合的な学習の時間などで情報モラル教育を推進しているところであり、道徳の授業につきましても、学習指導要領において情報モラル教育の充実や身近な社会的課題について取り扱うこととされており、それらに関わる指導が求められています。ご指摘の点は非常に大切なことと認識しており、子どもを取り巻く社会環境の変化を捉え、子どもに考えさせるべき新たな課題について積極的に取り扱うよう指導していきます。

公明党
三上 裕久

地方創生総合戦略の確実な推進について

質問 総合戦略5か年計画の3年目を迎えるが、これまでの進捗状況について市長の見解を伺う。

答弁 重点事業を中心に一定の成果があり、就業移住では、都市部へのPR効果がありました。また、このことで近隣市町との広域連携の基盤が出来たと思っています。

質問 市民が「自信と誇りを持てるまち」をつくるとしているが、どのような取り組みで実現されようとしているのか伺う。

答弁 市職員みずからが、本市のよさを感じ誇りを持つことで、広く知ってもらうことが肝要で、そのよさを市民の皆さんと共有し、ともに行動することが、自信と誇りにつながると考えています。

質問 （仮称）女性活躍推進センターについて、既存施設の活用を考えているのか伺う。

答弁 今ある保健センターにするか新設するかは、調査内容を踏まえ、今後、検討していきます。

質問 地域の課題を地域住民の連帯でみずから解決するという小規模多機能自治の考えを総合戦略に盛り込み、市民が生きがいをもって、まちづくりを進めることができる体制を構築することへの市長の見解を伺う。

答弁 これは重要な視点であり、課題解決型住民自治の全市的な広がりに向け検討していきます。

質問 本市と近隣自治体にまたがる広域の観光をマネジメントする地域連携※DMOは、各市町の利害にとらわれず、中空知に観光客を取り込むことが重要である。中立性・公平性を確保しながらどのように進めていくのか伺う。

答弁 滞在型観光スタイルを進めていきますが、中立性・公平性についても勉強していきます。

産業の振興と活性化について

質問 付加価値の高い農産物の産地形成を進めるにあたり、どのような農産物を考えているのか伺う。

答弁 生薬や化粧品原料の栽培など市場から求められる野菜づくりを支援していきます。

質問 農業者の高齢化が進み、農業の省力化を図るための環境づくりを早急に進めなければならない。IT技術を活用するスマート農業について見解を伺う。

答弁 ICTを活用した農業生産技術の導入を視野に、農業者が適切な時期に必要な技術を導入できるよう、関係機関や農業士会と導入促進策を検討していきます。

質問 現在、株式会社アニム滝川が進める栄町3―3地区の再開発事業で、かつてのにぎわいを取り戻すことができるのか伺う。

答弁 この事業をきっかけに新たな民間事業者による開発が誘引され、空き店舗の活用につながることで商店街の活性化を期待しています。

質問 滝川版マルシェを設置するための調査・検討をしているようだが、どのくらいの規模を想定しているのか伺う。

答弁 栄町3―3地区再開発による公開空地について、にぎわいにつながるよう所有者などと協議をし、商工会議所や商店街の皆さんとも連携して検討していきます。

質問 道営住宅に続き市営住宅の管理を民間事業者に委ねることになっているが、これが地域経済への効果および市民サービスの向上にどのようにつながると考えているのか伺う。また、住民からの要望・苦情の窓口は、どこが対応するのか伺う。

答弁 民間事業者を指定管理者とすることで、雇用の創出が図られ、新たな事業展開により地域経済への波及効果につながると考えています。また、要望・苦情の窓口は、指定管理者が対応しますが、指定管理者による解決が難しい案件、環境や施設の改善などは、市と協議して対応します。

いじめ実態調査について

質問 いじめ実態調査アンケートの結果を児童生徒や保護者に公表し、検証してもらうことが重要だと考える。どのようにしているのか伺う。

答弁 アンケートは年2回実施し、児童生徒一人ひとりの回答を確認し、状況や傾向を分析します。その結果は、学校だよりなどで児童生徒や保護者に公表しています。

※地域連携DMOとは……複数の地方公共団体にまたがる区域を一体とした観光地域として、観光地域づくりを行う組織

日本共産党
清水 雅人

下水道料金の基本水量の改定をどのように進めるのか

質問　業務用20トン未満の場合、いくら少なくても料金が同じということに対し、異議申し立てが行われ、経済建設常任委員会が料金見直しを促す答申を行うなど、流れができている。基本水量の見直しをどう進めるのか伺う。

答弁　今後の本市における下水道事業の経営状況を見据えるとともに、使用実態に即した公平性を感受できるものとなるよう、審議会などしかるべき組織に諮り、中空知広域水道企業団と協議を行いながら健全経営を継続できるよう検討したいと考えています。

二の坂保育所の建て替えについて

質問　市政執行方針では、施設が老朽化し耐震補強が困難な二の坂保育所については、早期建て替えに向けて具体的な検討を進めるとしている。市全体の入所児童数の増減などの傾向は。また、建設スケジュールや財源の見通しは。

答弁　未就学児童数は減少していますが、入所要件に求職、就学、育児休業が加わり、今後も入所者数は、維持・微増が予想されます。保育所定数は当面維持する必要性があります。できれば平成30年度の建て替え事業実施を目指し、整備計画を策定します。

江部乙農村環境改善センターの機能再点検と基本構想策定について

質問　市政執行方針では、江部乙地域におけるコミュニティ活動の拠点形成などに向けた検討を行うため、農村環境改善センターの施設機能の再点検を行い、基本構想の策定に着手すると述べている。日本共産党は、2年前の代表質問で国の制度を活用した取り組みを江部乙・東滝川地域で実施することを求めた。①有利な交付金を念頭にした計画づくりなのか、②交通弱者支援など施設利用そのものが大変な市民対策も同時に進めるのか伺う。

答弁　公共サービスのワンストップ拠点や幅広い相談窓口の実現など行政機能の充実の観点と、地域住民のまちづくり活動や多様な市民や団体が集う交流の場を創出するため、地域コミュニティ活動の拠点整備としての観点など、センターに必要とされる機能を整備しながら、センターのあるべき姿を描く基本構想の策定に着手します。また、江部乙地区コミュニティセンターなど地域公共施設の活用や集約化についても、公共施設マネジメント課や関係所管と連携していきます。構想の策定にあたっては、江部乙地域の活性化に大きな役割を担っていただいている団体などさまざまな皆さんと十分な意見交換などをしながら進めます。

有効な交付金については、現時点では特定の財源を想定していませんが、構想の実現にあたって、一定の改修経費などの必要が見込まれた場合には、考えていきます。交通弱者支援など施設利用そのものが大変な市民についても現時点では想定はしていませんが、基本構想の中で必要と判断した場合には、検討することになります。

市独自の35人学級の拡充等ソフト事業も時期を示すべき

質問　教育行政執行方針で、市独自の35人学級を小学5、6学年まで拡充する検討を進めるとしている。教育長も財政負担が最大の課題と述べている。しかし、長い間この状態が続いている。時期のめどについて伺う。

答弁　ずっと検討でよいとは思っていません。しかし、教員配置のための財政負担が大きいため、継続した検討とせざるを得ません。

質問　平成29年度も（仮称）女性活躍推進センター、文化ゾーンの集約など建物の計画が立てられるが、子ども医療費助成などソフト事業は、実現のめどが示されない。建物と並行してソフト事業計画を立てなければいつまでも検討が続くのではないか。

答弁　ハード面を優先しているとは考えていません。35人学級の拡充や医療費助成も考えていますが、厳しい財政事情の中で、どれを優先するか頭を悩ませています。さまざまな課題を整理し、行政を進めていきたいと考えています。

予算審査特別委員会

本定例会では、第１および第２予算審査特別委員会を設置し、３月16日から３月22日まで委員会を開催し、平成29年度一般会計予算ならびに特別会計予算５件、公営企業会計予算２件について審査を行いました。

第１予算審査特別委員会

第１予算審査特別委員会では、一般会計予算の議会、総務、民生、衛生、労働、農林業、商工、土木、消防、教育費等について、歳入・歳出の審査を行いました。委員氏名、主な質疑は次のとおりです。

委員長　荒木　文一
副委員長　田村　勇
委員　三上　裕久　清水　雅人
井上　正雄　水口　典一
小野　保之　渡邊　龍之
木下八重子

■田村　勇　副委員長
１　滝川ふれ愛の里を大手民間企業に指定管理する考え
２　休館するたきかわホールの管理費負担金の考え方

■三上裕久　委員
１　小・中学校の就学援助の入学準備金の支給時期
２　局地豪雨対策として道路側溝清掃の徹底

■清水雅人　委員
１　東町６～８丁目の投票所が遠い問題の解決への進捗状況
２　嘱託職員の産前産後、育児介護休暇を即時対象にする考え

■井上正雄　委員
１　ふるさと納税の拡充推進策
２　農業振興の課題解決策

■水口典一　委員
１　國學院大学北海道短期大学部修学奨励金の積算根拠
２　流雪溝再開の見通し

■小野保之　委員
１　石狩川河川敷パークゴルフ場の運営管理
２　市営球場改修工事内容

■渡邊龍之　委員
１　敬老特別乗車証の積算人数
２　地域子育て力強化事業の内容

■木下八重子　委員
１　超過勤務手当縮減の取り組み
２　文化ゾーンの検討に要する経費の節減理由

第２予算審査特別委員会

第２予算審査特別委員会では、国民健康保険、公営住宅事業、介護保険、後期高齢者医療、土地区画整理事業の特別会計５件と下水道事業、病院事業の公営企業会計２件について、歳入・歳出の審査を行いました。委員氏名、主な質疑は次のとおりです。

委員長　山本　正信
副委員長　東元　勝己
委員　堀　重雄　舘内　孝夫
安樂　良幸　本間　保昭
山口　清悦　柴田　文男
関藤　龍也

■東元勝己　副委員長
１　病院職員の健康診断受診状況
２　居宅介護福祉用具等購入費減額の要因

■堀　重雄　委員
１　下水道における陥没等の問題・課題
２　市立病院利用における患者や家族の意向の反映

■舘内孝夫　委員
１　ディスポーザー利用世帯
２　国保収納率向上特別対策事業

■安樂良幸　委員
１　居宅介護および介護予防住宅の改修に要する経費の積算根拠
２　市立病院の地域包括ケア病棟利用促進

■本間保昭　委員
１　介護保険における給与および職員数の増減
２　病院事業における収益確保に向けた医師の具体的取り組み

■山口清悦　委員
１　市立病院における平成29年度の取り組みの重要項目
２　被介護者向けの説明書の内容と配布数量

■柴田文男　委員
１　介護サービス需要の分析と予算編成の基本的な考え
２　病院事業における関係施設との連携による病床の効率的運用

■関藤龍也　委員
１　介護予防・日常生活支援総合事業
２　介護支援ボランティアポイント事業

予算審査特別委員会における各会派の討論

会派清新

第1予算審査特別委員会では、付託された議案第1号平成29年度一般会計予算および関連議案をすべて可としました。

29年度は、滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略における移住支援事業、財政健全化計画における事務事業の見直し、JR北海道の路線見直しに端を発した根室本線の維持存続など、幾多の行政課題と厳しい財政運営が予想されます。

その中で歳入については、ふるさと納税のさらなる積極的なPRにより歳入確保に努め、交付税、国や道の各種補助金などの活用等財源確保を求めました。

歳出では、新築住宅助成制度の活用に向け都市圏へ積極的なPR、人口増加と地域経済への活性化につなげるよう求めました。また、石狩川河川敷パークゴルフ場が、健康増進、各種大会の誘致など、利用者に親しまれる施設となるよう要望しました。学校施設の整備、適正配置については、少子化の中で一体的に取り組み、子どもたちの教育環境の充実を求めました。

第2予算審査特別委員会では、付託された特別会計、企業会計ならびに関連議案のすべてを可としました。

各会計において、人口減少が進む中で財源の確保が大変厳しいと認識しています。高齢者が増加することにより、医療費の増加も免れません。厳しい状況ですが、行政は市民の安全と安心に応えていかなければなりません。さらなる努力を求めます。また、病院事業会計については、赤字経営を解消していくための病院改革を進めていくことを求めました。

会派みどり

第1予算審査特別委員会に付託された平成29年度一般会計予算および関連議案について、可とする立場で討論を行いました。

歳入について、地方交付税の減。財政調整基金等の繰り入れを行い総額198億8、500万円余の歳入予算を組み立てました。歳入確保には、市税等の滞納に対しての取り組みに一層努力されたい。ふるさと納税は、自主財源確保に向け道内外に対し、PR活動をしっかりと取り組むよう求めました。

歳出について、総務費、地方創生の推進に要する経費では、新築住宅助成事業を市民に対して十分にPRしていただきたい。公共施設修繕事業の年次計画を策定し、各施設の修繕に努められたい。貸付金、第三セクター健全化への対応では、貸付金によって賄われていることを強く認識するとともに、市の財政に深刻な影響が及ぶことがないよう、さらなる経営努力を求めました。

第2予算審査特別委員会に付託された特別会計および企業会計ならびに関連議案についても賛成の立場で討論を行いました。

介護保険特別会計では、対象者が年々増加する中、当会計は市民の福祉向上においてますます重要になっています。国の制度変更も頻繁に実施され、本市でも新規予防事業に取り組むなど、複雑になっているので、市民に分かりやすい説明と確実な給付を求めました。

病院事業会計では、医師・看護師・技師などすべての職員が経営状況になお一層の危機感を共有し策定した経営計画に沿って実行・検証を行うことを要望しました。

新政会

平成29年度一般会計予算および関連議案について、29年度はまち・ひと・しごと創生総合戦略と財政健全化計画の3年目であり、将来に向けた投資と効率的・効果的な予算の執行を求めて、第1予算審査特別委員会に付託された予算および関連議案に若干の意見を付して可としました。

歳入では、国や道の動向を的確に捉えた交付税・補助金などの確保とふるさと納税のさらなる推進などを求めました。

歳出では、農商工連携事業における地域農業者と民間企業のマッチングを通じた市場から求められる野菜の栽培や付加価値の高い農産物の地域形成、夕張ツムラとの

連携による生薬栽培などの具体的課題への取り組み、多面的機能支払交付金事業の円滑な推進と行政による一層の支援、新築住宅助成制度および住宅改修補助制度ならびに住宅住み替え支援制度の市民への周知徹底よる利用促進、石狩川河川敷パークゴルフ場オープンに伴う市民の健康増進とさらなる魅力づくりに資する創意工夫について、より一層の努力を求めました。

また、第２予算審査特別委員会に付託されました特別会計、企業会計および関連議案についても若干の意見を付して可としました。

国民健康保険特別会計における特定健康診査の受診率向上、公営住宅事業特別会計における公営住宅の指定管理化に伴う入居者への配慮、介護保険特別会計における第７期介護保険事業計画の周到な策定、病院事業会計における滝川市立病院経営計画の確実な実行に基づく健全な病院経営などについて、努力を求めました。

公明党

第１予算審査特別委員会に付託された平成29年度一般会計予算および関連議案について、若干の意見を付してすべてを可としました。

歳入については、ふるさと納税などの税外収入である公共施設の命名権、自治体事業に対するクラウドファンディングの積極的な導入を求めました。

歳出では、（仮称）女性活躍推進センターについて既存施設活用の検討をはじめ、ひとり親家庭の応援、生活困窮者自立支援の拡充、不妊治療費助成の拡充、じん芥収集の組合委託化に伴う安定運営、中心市街地における各種イベント広場の設置、災害に備えた道路側溝の維持管理、市民の健康増進が最優先の石狩川河川敷パークゴルフ場の運営に努めるよう求めました。

また、第２予算審査特別委員会に付託された特別会計および企業会計ならびに関連議案についても、若干の意見を付してすべてを可としました。

公営住宅事業特別会計では、指定管理に伴う業務の円滑化に取り組み、市民の満足度の向上に努めること。介護保険特別会計では、次期、第７期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向け、市民ニーズを調査したうえで検討すること。また、介護予防サービスのさらなる推進に努めること。

下水道事業会計では、全国的に陥没事故が発生している中、その対策としてのメンテナンス計画および設備更新のコストダウンシミュレーションの必要性。

病院事業会計では、改革プランに基づき健全経営に努めることを求めました。

日本共産党

一般会計予算と議案第26号滝川市都市公園条例の一部を改正する条例に反対し、他の関連議案に賛成しました。

議案第26号の反対理由は、石狩川河川敷パークゴルフ（以下ＰＧ）場への交通弱者対策が不十分な中で、西公園ＰＧ場を廃止することは、交通弱者から健康づくりの場を奪うことになるからです。

一般会計予算に反対する理由は、西公園ＰＧ場廃止に伴う予算が１１２万８千円含まれていることによるものです。執行予算が計上されている関連議案に反対することで、一般会計予算そのものにも反対しなければならないとの認識から、反対しました。

特別会計・企業会計と関連議案は、２件の会計に反対し、他の５件の会計と関連議案に賛成しました。反対の理由は以下のとおりです。

土地区画整理事業特別会計予算について、１点目は、都市計画に基づいて拡幅とクランクを解消することは、将来の３丁目通の立体交差化（函館本線との関係）を見越したもので、時代に合っていないこと。２点目は、街路灯が設置されない可能性が高く、夜歩けない道路になりかねません。事業そのものを凍結もしくは中止と判断するべきです。

公営住宅事業特別会計予算について、１点目は、維持管理業務の指定管理化で、窓口に出向く際、市庁舎から約１キロメートル離れた指定管理事業者社屋へ行かなければならなくなります。道内１７９市町村で、庁舎から一番遠い窓口になります。２点目は、指定管理化について、市民説明が全くされていないことです。

副議長コラム

市議会選出監査委員について

滝川市議会副議長　山口清悦

監査委員は、自治体に必ず設置され公正・効率的な運営を保障するために、行政運営、特に財務会計事務を監査する専門機関です。

本市では、地方自治法により市長が議会の同意を得て、２人の監査委員を任命しています。１人は、税理士法人を経営する宮崎英彰税理士であり、もう１人は議員７期目の田村勇議員です。

監査委員の役割は、大別すると、①定例的に財務監査・行政監査を実施する定期監査、②首長や議会、そして住民からの監査請求により実施される特別監査、③財政援助団体等の監査や決算審査、例月現金出納検査等を実施するその他監査です。監査委員は、監査により不備があれば、それを指摘して改善を指導します。また、その内容を議会に報告する義務があります。

監査委員は、高い独立性を持つことが大事なので、議会選出の監査委員の役割は、今後もますます重要になります。

議会日誌（平成29年１月１日～平成29年３月31日）

１．11	第21回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。
１．16	第22回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。
１．19	第17回厚生常任委員会を開催した。
１．27～29	第55回名護さくら祭りの記念セレモニーに出席のため、議長が沖縄県名護市に出張した。
２．13	第２回市議会全員協議会を開催した。
２．16	議会改革特別委員会第６回第１分科会を開催した。
２．23	第20回総務文教常任委員会を開催した。
２．24	第18回厚生常任委員会を開催した。 第20回経済建設常任委員会を開催した。
２．27	新十津川町議会「総務民生常任委員会」一行９人が滝川地方消費者センターの調査のため、来市した。
２．28	第33回議会運営委員会を開催した。
３．６～23	第１回市議会定例会を開催した。
３．７	第23回たきかわ市議会だより編集会議を開催した。 第６回議会改革特別委員会を開催した。
３．９	第34回議会運営委員会を開催した。
３．16～22	第１・第２予算審査特別委員会を開催した。
３．23	第21回総務文教常任委員会を開催した。
３．24	佐賀県武雄市議会「新政策研究クラブ」一行３人が子ども向け図書館事業の調査のため、来市した。

編集後記

第1回定例会は、3月6日から23日まで開かれました。期間中は、代表質問や予算審査特別委員会が開かれ、各議員はさまざまな視点から質問をし審議しました。市長をはじめ職員の皆さんの懸命な答弁もあり、29年度事業の動向に期待をします。

■たきかわ市議会だより編集委員会
委員長　木下八重子
副委員長　堀　重雄
委員　舘内孝夫
安樂良幸
東元勝己
発行責任者　滝川市議会議長
水口典一

傍聴してみませんか

平成29年第２回滝川市議会定例会開催予定日をお知らせします。

日程

６月13日㈫　本会議
６月14日㈬　本会議
６月20日㈫　本会議　一般質問
６月21日㈬　本会議　一般質問
６月22日㈭　本会議　一般質問等

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ　議会事務局　☎28-8048